

岡崎市環境基本計画

概要版



平成27年3月
岡崎市

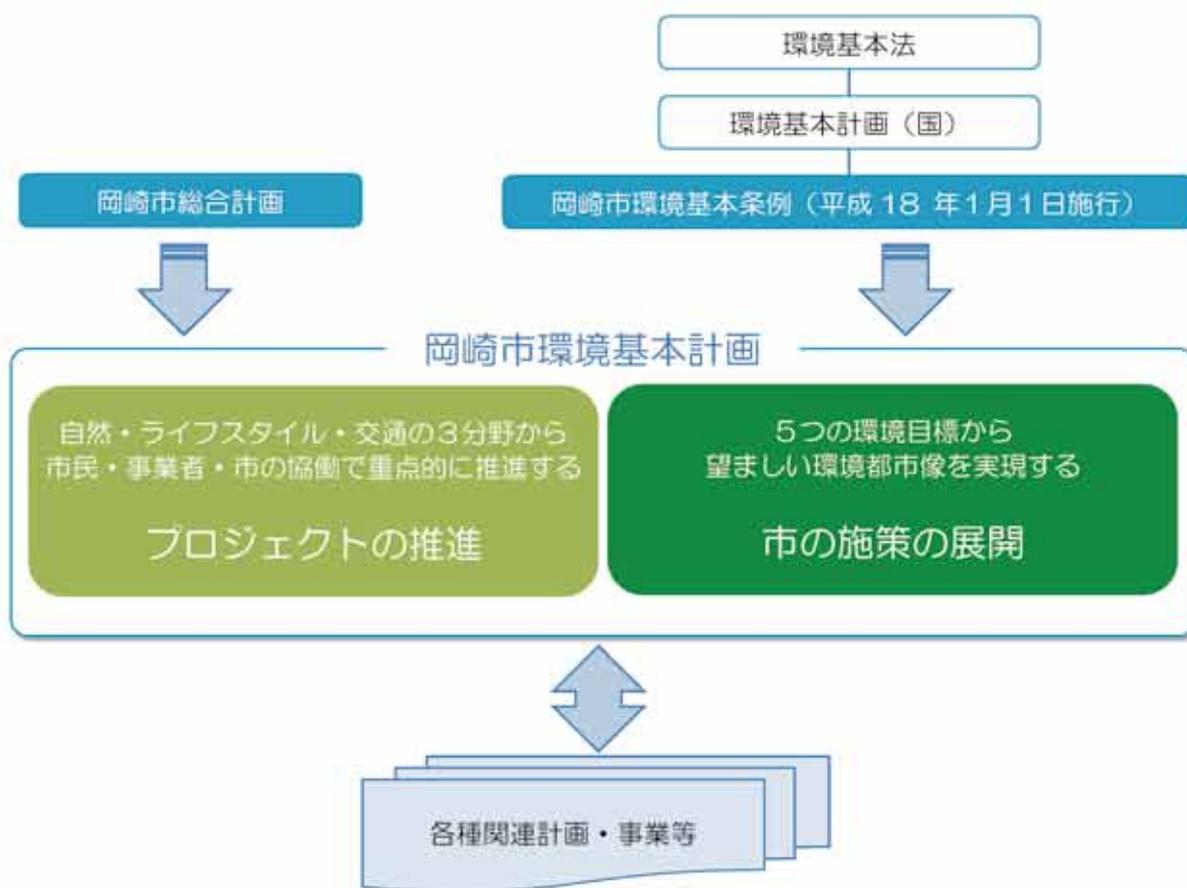
1 岡崎市の環境基本計画とは

1 目的

この計画は、地域の自然環境と特性を活かした社会経済活動との調和を図りながら、これまで以上に環境への負荷の少ないライフスタイルを推進し、良好な環境の保全及び創造を実現するため、必要な環境将来像（ビジョン）や環境施策（市の施策及び市民協働プロジェクト）を定め、市民や事業者、市がパートナーシップ（協働）を形成しながら環境政策を推進することを目的としています。

2 位置付け

この計画は、岡崎市基本構想を踏まえ、岡崎市総合計画を環境面から補完しながら、岡崎市環境基本条例第10条の規定に基づき、市の将来環境に関する長期的・総合的な施策と行動を規定する「環境面での総合計画」として位置付けられています。



3 期間



4 基本方針

この計画では、市民・事業者・行政が、それぞれの立場で環境について考え、環境にやさしいライフスタイルの実践と環境との共生を実現していくために、次のような方針を定めています。

- 市民・事業者・市が一体となり、良好な環境を将来に継承する。
- 市民・事業者・市が一体となり、環境にやさしいライフスタイルを確立する。

2 望ましい環境像（ビジョン）・環境目標と施策

1 望ましい環境像

自然とふれあい、魅力的な自由時間をすごせる
「環境共生都市 岡崎」
～エコライフ、エコシティ 岡崎～

2 環境目標と施策

岡崎市環境基本計画では、自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、ライフスタイルから「望ましい環境像」を実現するため、次の5つの「環境目標」を設定します。
環境目標を達成するために、総合的かつ具体的な取り組みを展開していきます。

環境目標 1. 水と緑豊かな自然とふれあえるまちに

1-1 豊かな自然を確保する

豊かな郷土の自然を残し、多様な動植物の生息・生育環境や自然生態系の保全を目指します。

- ① 広がりある自然の保全・保護施策の推進
- ② 貴重な自然の保全・保護施策の推進

1-2 人と自然がふれあえる場を確保する

公園緑地や水辺の整備などにより、人と自然のふれあいが保たれ、身近に自然を感じる生活環境の形成をめざします。

- ① 身近な自然の保全施策の推進
- ② 施設や街路、地域等の緑化の推進
- ③ 農地の保全・活用
- ④ 生態系ネットワーク化の推進
- ⑤ 自然とのふれあいの場の整備
- ⑥ 自然とふれあう活動の育成と自然



平成 32 年度までの主要目標

施策名	指標名	現状値 (H25 年度)	目標 (H32 年度)
① 豊かな自然を確保する	湿地保全活動参加者数	319 人	350 人
② 人と自然がふれあえる場を確保する	自然体験プログラム参加者数	5,598 人	6,500 人

環境目標 2.

良好な生活環境が確保されるまちに

2-1 健全な水環境を確保する

水源の涵養、水資源の有効利用、生活排水や事業所排水の抑制を図り、健全で恵み豊かな水環境をめざします。

- ① 水源の涵養
- ② 雨水の有効利用
- ③ 流域の連携
- ④ 生活排水対策の推進
- ⑤ 事業所排水対策の推進
- ⑥ 下水道の整備
- ⑦ 監視体制の充実
- ⑧ 水辺とふれあう機会の創出
- ⑨ 水辺環境保全活動の活性化



2-2 生活環境を保全する

大気汚染、騒音、振動、土壌汚染、悪臭などの公害、ダイオキシン類などの問題に対して、未然防止を図り、健康に暮らしていける環境をめざします。

- ① 大気汚染への対策
- ② 騒音・振動への対策
- ③ 土壌汚染への対策
- ④ 悪臭問題への対策
- ⑤ ダイオキシン類対策
- ⑥ 近隣環境問題への対応
- ⑦ 化学物質への対策
- ⑧ 監視体制の充実
- ⑨ 環境相談対応

平成 32 年度までの主要目標

施策名	指標名	現状値 (H25 年度)	目標 (H32 年度)
①健全な水循環を確保する	水循環再生指標 (5 点満点)	3.3	4
②生活環境を保全する	環境基準 (BOD) の達成率	100%	100%

環境目標 3.

歴史と文化を育む風格あるまちに

3-1 人を育てる個性ある地域環境を形成する

歴史とともに培われてきた文化、郷土の風景など歴史的資産の保全・活用を図り、郷土への愛着や誇りを感じることができる心豊かに暮らせるまちをめざします。

- ① 歴史的資産への啓発と保全活動の育成と支援
- ② 歴史的資産の保全と活用

3-2 人をつくる良好な都市景観を創造する

市民が日常生活の中で、憩い、やすらぎ、ゆとりが感じられるまちをめざします。

- ① 都市景観環境の整備
- ② 災害への対策

環境目標4.

地球環境に配慮するまちに

4-1 地球環境問題への取り組みを推進する

地球温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨などへの対策で地球環境に配慮したまちをめざします。

- ①地球温暖化対策の統合的な推進
- ②自然エネルギーの導入促進
- ③省エネルギー、二酸化炭素対策の推進
- ④オゾン層保護の推進
- ⑤酸性雨対策の推進
- ⑥熱帯林保護の推進

4-2 ごみ減量とリサイクル、廃棄物の適正処理を推進する

3 R（リデュース/発生抑制、リユース/再使用、リサイクル/再資源化・熱回収）を促進し、循環型のまちづくりをめざします。また、廃棄物が適正に処理されるまちをめざします。

- ①減量、分別収集の推進
- ②リサイクル、有効利用の推進
- ③ごみ処理施設の整備の推進
- ④産業廃棄物の適正処理の徹底
- ⑤産業廃棄物の3 Rの推進

平成32年度までの主要目標

施策名	指標名	現状値 (H25年度)	目標 (H32年度)
①地球環境問題への取り組みを推進する	家庭からのCO ₂ 排出量	474 千t-CO ₂ (H22)	363 千t-CO ₂
②ごみ減量・リサイクル・廃棄物を適正管理する	処理しなければならない一人1日当たりのごみの量	876g/人・日	850g/人・日 (注1)

注1：H32 推計量（892g/人・日）に対して4.7%減

環境目標5.

環境を考え実践するまちに

5-1 環境への意識の啓発を推進する

学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・学習が推進され、身近な自然環境や地球環境の問題に興味を持ち、市民、事業者、市が一体となって環境について考えるまちをめざします。

- ①環境教育・環境学習の実践

5-2 環境にやさしいライフスタイルを推進する

市民・事業者の環境に配慮した行動を推進し、ライフスタイルの見直しを図りながら、環境にやさしいまちをめざします。

- ①市民の取り組みの推進と支援
- ②事業者の取り組みの推進と支援
- ③ボランティアの育成と活動支援

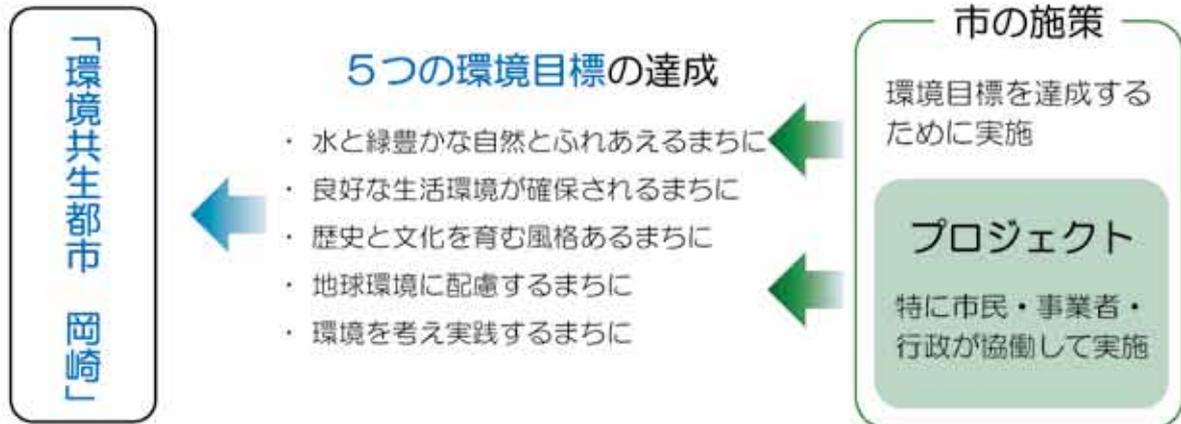
平成32年度までの主要目標

施策名	指標名	現状値 (H25年度)	目標 (H32年度)
①環境への意識啓発を推進する	環境教育支援団体の登録数	現状値なし	20 団体 (H30年度)
②環境にやさしいライフスタイルを推進する	環境基本計画推進組織によるプロジェクト取組数	11	8 (注2)

注2：環境基本計画推進組織によるプロジェクト取組数は17→8に改定

3 市民・事業者・行政協働プロジェクト

5つの環境目標を達成するため、市では様々な施策を計画、実施しています。さらに、「自然」「ライフスタイル」「交通」の3つの面から市民・事業者・行政で協働するプロジェクトにより環境目標の達成をめざします。



分野別サブビジョン

<p>【自然】 鳥がさえずり 陽射しを温かく包み込む 緑豊かな森</p> <p>清らかで澄みきった 絶え間なく流れるせせらぎ</p> <p>子ども達の歓声が絶えることのない 笑顔で交流が続くわがまち</p> <p>ここは、・・・三州岡崎 自然の恵みに生かされるまち</p>	<p>【ライフスタイル】 自然のいとなみの中で その自然をうまく利用してくらす</p> <p>ほかの生き物と仲良く 生活の場を分け合ってくらす</p> <p>自然のめぐみをいただき 無駄使いをせずにくらす</p> <p>子や孫の時代につながる そんなくらしが 実現している</p>	<p>【交通】 バスが市民の足となり 町は楽しく歩く人で溢れ 自転車道には自転車 安全に行き交う</p> <p>桜並木が川面に映え 花火が季節を彩り 人や環境にやさしく 活気に満ち 安心してくらせるまち 岡崎</p>
---	---	---

自然

里山を我が家に持ち帰ろう!! 一家一絆運動

里山保全活動や間伐材を使用した工作を通して、人と自然、里山との結びつきを強くすることで里山を守る活動を広める。

- モデル地区での間伐体験などの保全活動の実施
- 地元産間伐材を使用した木工教室の実施など

フォトアートコンテスト

まちの良いところ、悪いところの写真を通して市民への啓発に努めるとともに、自然を学び、保全保護する活動のきっかけづくりとする。

- フォトアートコンテストの実施
- 応募作品からのわがまちマップの作成など



ライフスタイル

低炭素な「食と農」プロジェクト

地産地消やエコクッキングなどを広めて、食べ物に使われるエネルギーや生ごみを減らす。

- 「洗い箸」の使用や環境に配慮した調理などによる「食品関係ごみの減量」プロジェクトの推進
- 地元食材を使用したイベントなどによる「地産地消」普及促進プロジェクトの実施など

岡崎を、自然エネルギーをいっぱい利用する町にしよう

市民参加で太陽光など自然エネルギーの利用をふやす活動を推進する。

- 自然エネルギーの利用状況調査の実施
- 自然エネルギーエコツアーを実施し、結果を基に啓発活動や利用拡大策を検討するなど

環境にやさしい事業者、環境にやさしい市民育成事業

環境にやさしい事業者、環境を考える市民を応援、支援することで環境目標5「環境を考え実践するまちに」の実現を目指す。

- 情報発信などを行うことで環境対策に取り組む事業者を応援
- 市民、事業者の環境意識の向上策実施など



交通

ぶらつきょろりん

「歩くことは健康にも環境にもやさしく楽しいもの」という意識を市民に再認識してもらい、車のちょい乗りから歩くことにシフトさせる。

- 市内各地で歩くイベント「ぶらつきょろりん」の開催
- コースマップの作成、地域への支援方法を考え、市域全体へ普及させる。

自転車乗りん

自転車の楽しさ、便利さ、マナーを知ってもらい、自転車で安全に移動しやすいまちをつくる。

- 自転車道の有無、危険箇所などを調査し、サイクルマップの作成
- イベントなどを企画し、自転車利用を普及させる。

車乗るならエコドライブ

車に乗る時はエコドライブ。事業所などと協力し、エコドライブを普及させ、自動車からのCO₂を減らす。

- エコドライブ普及促進イベントの実施
- 事業者を巻き込んだイベントなどによりエコドライブ実践事業者の拡大を図る。
- 次世代自動車の試乗などを通じた、次世代自動車の普及促進



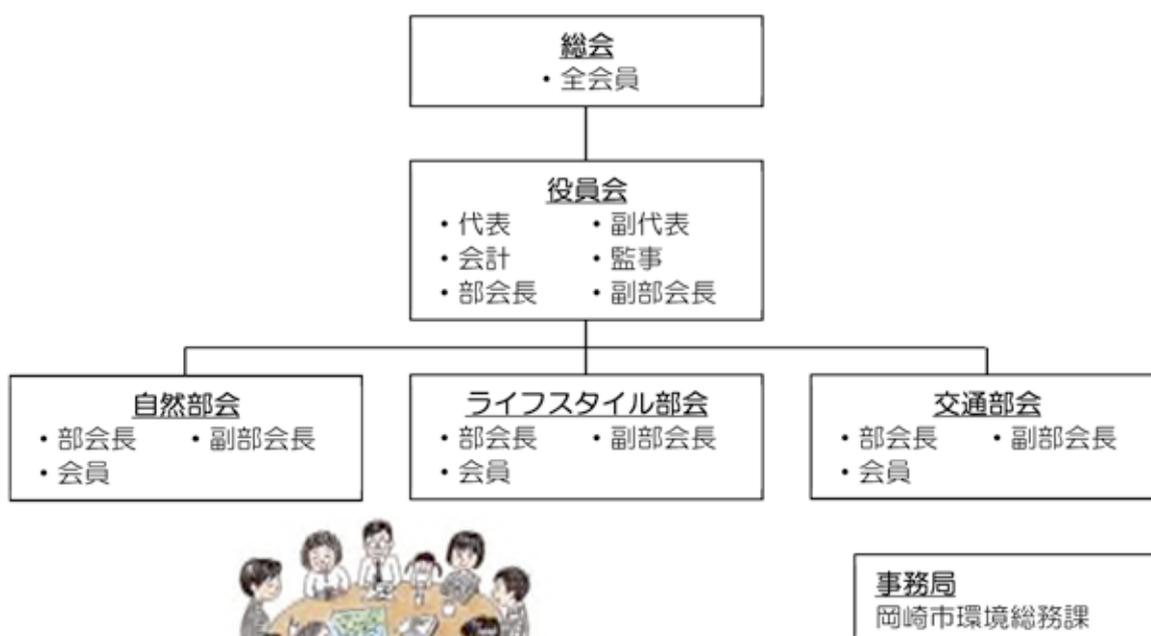
エコドライブコンテストの様子

岡崎市環境まちづくり市民会議

目的	岡崎市環境基本計画に基づき、市民・事業者・岡崎市が協働して、プロジェクト等を推進することにより、環境共生都市の実現に寄与する。
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡崎市環境基本計画のプロジェクトに関すること ・ 環境に関する情報提供及び普及啓発に関すること ・ 環境教育・学習の支援を通じた地域づくりに関すること ・ 関係団体・機関との協力・協働・調整に関すること ・ その他、本会の目的を達成するために必要な活動
会員	本会は、目的に賛同して会員になる市民、事業者及び岡崎市をもって構成する。

いつでも、どなたでも参加できます。

組織



ここはあなたの席です！

平成27年3月発行

発行／岡崎市

企画編集／岡崎市環境まちづくり市民会議
岡崎市環境部環境総務課

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
TEL:0564-23-6685 FAX:0564-23-6536

U R L <http://www.city.okazaki.lg.jp>

E-mail kankyosomu@city.okazaki.lg.jp